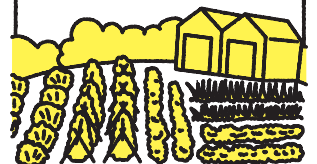




畜産界の 期待の新星



みーつけた
しまねのファーマーズ
Shimane farmers
小西 富夫さん
[隠岐どうぜん地区本部]



SNSで
旬な情報を
投稿して
います



Instagram



Facebook



YouTube





みつけた
しまねの
ファーマーズ
Shimane farmers

年間を通して様々な野菜づくりを

豊かな自然に囲まれた隠岐諸島のひとつ、西ノ島町。小西さんは長年、西ノ島町役場の職員として勤務する傍ら、家庭菜園で野菜作りを楽しんでいます。最初は3アール

ほどの面積でしたが、近所の空き家の土地管理を任されるようになり、今では自宅周辺に数カ所、計15アールの畑を1人で管理しています。61歳から農業中心の生活となり、春は玉ねぎ、夏はズッキーニ・キュウリ、秋は春菊・ネギ、冬はあすっこ・大根など、JAの直売コーナーには年間を通して小西さんの野菜が並んでいます。

こにしとみお 小西 富夫さん(69才)

今月は、隠岐どうぜん地区本部。西ノ島町でズッキーニをはじめとした野菜の生産に取り組むJAしまね西ノ島支店直売部会会長の小西富夫さんにお話を伺いました。



小西さんの畑



直売コーナーに並ぶ地元の野菜

地元の野菜が食べられる喜び

西ノ島町は元々、火山島であったことから平地が少ない地形が特徴で、耕作地として発展することは難しい地域です。昔は隠岐地方独自の「牧畑」と呼ばれる輪転式農法が盛んでしたが、戦後には消滅し、今では和牛の放牧繁殖以外の本格的な農業は行われていません。そうした背景からも、島に流通する野菜や米は町外から仕入れたものがほとんど。お店に並ぶ商品は輸送コストがかかるため、どうしても本土に比べ価格が高くなってしまう。家庭菜園をしている人も多く見られますが、浦郷地区など漁業が中心の集落には畑自体がない家庭もあり、また、自分



で作ることが難しくなった高齢者など、お店で購入せざるを得ない人も増えているのが現状です。

そんな中、直売コーナーには地元の人を作った野菜や、山で採れた山菜などが並び、多くの人々の支えとなっています。野菜を安価で購入できる



ということはもちろん、作り手の顔が見える安心感、旬のものを食べられる喜び、そして何より、新鮮なものを食べられること。島の人にとって、直売所の野菜は色々な意味で価値あるものとなっています。そんな直売部会の会長を長年務めている小西さんは「もっと若い人にも野菜を作ってもらって、一緒に売り場を盛り上げていけたら」と、次の世代の人たちが参加することにも期待を寄せています。

島では珍しかったズッキーニ

小西さんが3年前から栽培を始めたズッキーニ。それまでは島でほとんど流通しない珍しい野菜だっ

たそう。「数年前に一度、島の店で見かけた時に1本300円で販売されていた」という驚きからも、育てることに益々興味を持ったと言います。「最近テレビの料理番組でも多く取り上げられるようになり、昨年は多くの方が買ってくれました」と手応えを感じている様子。そうは言っても、いまだに島の人からは「どうやって食べるの?」「食べ方を教えてほしい」と聞かれることが多く、小西さんはおすすめの食べ方のひとつである「ニンニクと野菜のオリブオイル炒め」や「天ぷら」をはじめ、どんな調理法でも美味しく食べられることを伝えているそうです。現在でも島外から仕入れられることは少ないズッキーニですが、こうして島の人たちが簡単に手に入れられるのも、小西さんが一生懸命新しい品目の栽培に取り組んでいるからこそ。直売所に出荷した野菜を「買ったよ」と声をかけられることも多くなり、小西さんにとっては新たな挑戦への原動力となっているそうです。



可愛く実をつけたズッキーニ。ここから更に成長します

かわいい孫のために

休日になると同じ町内に住むお孫さんが遊びに来て、畑にできたものを一緒に収穫することも多いとのこと。この間まではイチゴを摘むことができ、お孫さんはそれをとても楽しみにしていたそうです。「今年は天気が良かったので、ザルいっぱい採れ

ることもありました」と笑顔を見せます。これからの季節はミニトマトの収穫が始まるので、かわいいお孫さんの喜ぶ姿を見るためにも、より一層畑の管理に勤しんでいます。



お孫さんが楽しみにしていたイチゴ摘み

新しいものに挑戦し続けたい

今まで作ったことのない新しい品目にも、次々とチャレンジしている小西さん。種や苗を島外から取り寄せ、育ててみては直売所に出荷しています。今年には白ゴーヤと白ナスの栽培を始めたそう。毎年1年生だけで、おもしろそうなものを探しながら少しずつやっています」と話します。低い位置での草取りや、夏の暑い時期の作業は体がきつく感じることもあり



初挑戦の白ゴーヤ。生育は順調とのこと

ますが、本やインターネット、最近ではYouTubeで育て方を研究し、年々品質の良いものが収穫できるよう努力も欠かしません。「今後、島の人たちに新鮮な野菜を安定的に、目新しいものを安く供給できるように」と、意欲的に野菜作りに取り組んでいる小西さんでした。



隠岐には猿もイノシシも居ないそうですが、カラスによる被害が。ネットで対策しています



宅地が畑になっていることから近くには井戸が。井戸から水を汲んでは水やり...と何往復もして野菜に水をあげているそうです

小西さんの野菜

グリーンストア西ノ島に年間を通して野菜を出荷する小西さん。7月からは店頭にもトマト、ピーマン、ししとうが並ぶ予定です😊

また、今年栽培を始めた白ゴーヤ、白ナスは8月初めを予定しているのだとか…🌟行かれたかたはぜひcheckしてくださいね👉





畜産界の 期待の新星

皆さん“和牛のオリンピック🐮”があることをご存じですか？全国和牛能力共進会（通称「全共」）と言い、全国の優秀な和牛を一堂に集め、改良の成果やその優秀性を競う大会が“5年に一度”開催されます🌟。2022年はその5年に一度の年にあたり、今、畜産界は盛り上がりを見せています🔥。「しまねびより」では、皆さんと一緒に盛り上がりをも共有したい!!という思いから、7・9月号は全共について特集します😊

第一弾となる今回は、今大会から新設された、高校や農業大学校が参加する「特別区」への出場に向け、日々頑張っている若い担い手の特集です🌟

「特別区」の県代表は、7月13日に開催される県代表牛最終選抜会で決定!! その代表1校の座を目指し、奮闘する県内3校の取り組みについてご紹介します!!



全共についてモォ～🐮 少しでもご紹介

第12回全国和牛能力共進会は、「和牛新時代 地域かがやく和牛力」をテーマに、10月6日から鹿児島県で開催されます。41の道府県が参加し、約460頭の牛が鹿児島県に集結する全国規模の和牛の品評会です!!




全国の和牛関係者にとって、この大会で優秀な成績を収めることは、和牛ブランドの向上につながることから、最も重要な大会と位置付けられています。



第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会
マスコットキャラクターかごうしまマ



審査は

-  種牛（雄牛・雌牛）の姿や体形の良さなど、改良の成果を月齢別に審査する「**種牛の部**」
-  和牛肉の美味しさなどの肉質を審査する「**肉牛の部**」
-  和牛を飼育する高校・農業大学校からの出品を対象とした「**高校及び農業大学校の部**」があります。



島根県立農林大学校



先輩の想いを受け継ぎ、 気合を入れて頑張ります!!

島根県立農林大学校では、全共に向け取り組むメンバーだけでなく、農業科肉用牛専攻の1・2年生の生徒全員が一丸となり、県代表の座を目指して取り組んでいます。4年前からプロジェクトが発足され、卒業された先輩の熱い想いを受け継ぎ、いざ選抜会に挑みます！今回は中心メンバーとなる2年生の大庭悠真さん(19)と多々納勇斗さん(19)にお話を伺いました😊



校庭での調教練習。
専用のかけ声が響きます！



運動後のブラッシング♪
頑張った牛への癒し時間としてと
欠かせない作業です

1. 全共に向けてどんなことに取り組んできましたか？

4年前から全共への出品を目標に取り組んできました。候補牛である「みる」「おとは」「いとさつき」の調教などを始めたのは1歳になった頃からです。校庭での調教や引き運動はできるだけ毎日行ってきました。また、朝と夕方の農場当番が決まっています。飼料をあげながらコンディションを確認しています。土日夏休みも関係なく、366日牛と向き合っています。毎日の状態を記録し、先生と生徒全員で共有するなど、連携して日々の管理を徹底してきました。

2. 独自の取り組みを教えてください。

地域の生産者からアドバイスを受けた調教技術や飼育管理、手入れ技術などを1冊にまとめた「農林大調教の手引き」を先輩方が作成され、私たちや後輩へも技術のバトンを引き継いでいます。また、追加哺乳技術による哺育・育成管理にも取り組んでいます。母乳だけでは足りないと感じた際、私たちが追加哺乳し、成牛になってからもよく食べることができるよう、子牛の時から丈夫な胃袋づくりに繋げていきます。

3. 特に頑張ったことは何ですか？

調教や引き運動、終わった後のブラッシングなどは、放課後も残って取り組んできました。また、3頭の候補牛を飼養していますが、それぞれ給与量と残飼量をチェックし、餌の管理を徹底して行いました。

4. 嬉しかったこと、やりがいを感じたことは何ですか？

他の専攻の先生に「今日も頑張っているね!」「熱い中ご苦労様」など声を掛けてもらった時、嬉しいし、やる気にもつながります。また調教などの練習で、候補牛が綱の指示でうまく動くようになり、先生方と共有できた時にはとてもやりがいを感じました。

5. 県代表牛最終選抜会に向けた意気込みをお願いします!!

先生、先輩、生徒みんなで一致団結して取り組んでいるので、みんなの想いを受け継ぎ大学生だからこそできることをやりたいと思っています。県で終るのではなく、鹿児島でもいい成績が残せるよう、気合を入れて頑張ります!!



畜産農家・牛の魅力
についても
教えていただきました



大庭さん😊

早産で亡くなってしまった子牛や母牛も見えました。“いのち”を身近に感じる事ができ、その大切さを改めて知ることができる仕事です。

多々納さん😊

牛と日々向き合っていると、本当に色々なことが起きます。牛は話すことはできないけれど、日々起こることの原因を自分たちで理解し解決していく中で、周りを見る力や、コミュニケーション能力がついたと感じます。



島根県立出雲農林高校



牛への愛情はどこにも負けません！ 会場でたくさんの方に見てほしいです

出雲農林高等学校では、動物科学科、産業動物コースで大動物を専攻する3年生5人組が中心となり、全共の県代表の座を目指し取り組んでいます。時間があれば一緒に牛と添い寝するなど「牛への愛情はどこよりも強いです!!」と笑顔が絶えないメンバーの皆さん。出雲農林高校の代表として、一致団結し選抜会に挑みます！今回は中心メンバーの落合七海さん（17）、岡田百夏さん（17）、竹下楓恋さん（17）、小中桃夏さん（17）、橋本寧々さん（17）にお話を伺いました😊



調教中と
笑顔が絶えません😊



丁寧にブラッシングを
行います☆
普段は4人では
行わないそうですが、
この日は特別に!



1. 全共に向けてどんなことに取り組んでできましたか？

調教、洗体やブラッシング、蹄掃除などを毎日行い、床替えもこまめにしています。毎日牛の当番があり、1~3年生で朝夕の餌やりや掃除をしています。候補牛の「すずらん」については土日でも5人で交代しながら飼育してきました。

2. 独自の取り組みを教えてください。

強化哺育を目的に、生まれてすぐ人の手でミルクをあげる人工哺乳乳に取り組んでいます。発育を見極めながらミルクの量を自分たちで管理しています。「すずらん」も人工哺乳乳で育ちました。また、和牛甲子園に肥育部門で出場しています。いい雌牛を残し、生まれた子牛を肥育する…を繰り返しながら、自分たちで改良を進めています。また乳牛も飼養しているので、搾乳なども行っていて、牛についてより深く学んでいます。

3. 特に頑張ったことは何ですか？

「すずらん」と同じ場所で育てている牛が病気になってしまったとき、病気がうつらない様に工夫したことです。床替えを頻繁にしたり、ブラッシングの道具を変えたりなど対策し、なんとか乗り越えることができました。

4. 嬉しかったこと、やりがいを感じたことは何ですか？

最初は発育が不安定だったので心配でしたが、定期的に巡回指導をしてもらうなかで、発育が良いと褒めてもらえることが多くなったので嬉しかったです。「すずらん」を調教していき、旋回など最初はできなかったことができるようになった時も嬉しかったです。

5. 県代表牛最終選抜会に向けた意気込みをお願いします!!

「すずらん」は顔はもちろん、人懐っこさも可愛くて、横から見た体上線が美しいので、ぜひ会場で多くの方に見てほしいです!! クラスの友達からも「絶対に鹿児島行ってよ!」とエールをもらうので、出雲農林高校の代表として頑張ります!!



畜産農家・牛の魅力
についても
教えていただきました



一つはやりがいがある仕事ということです。また、とにかく牛は可愛くて、性格も穏やかで…大好きです!! 大変なこともあります。牛と触れ合うことで自分たちが癒されています。

島根県立矢上高校



地域の方との関わりを 多くの人に伝えたい!!!



島根県立矢上高等学校は、産業技術科の3年生が中心となり、全共の県代表の座を目指し取り組んでいます。候補牛である「みつゆり」は、1年生の時に生まれ、みんなで協力し育ててきました。“地域を担う畜産人を育てる”という、地域全体が同じ目標をもち、全共への出場に向けても地域が一体となり取り組んでいます。多くの人の想いを胸に、いざ選抜会に挑みます！今回は3年生の皆さんにお話を伺い、中心メンバーである三浦宗馬さん(17)、松村璃邑さん(17)、高田優希奈さん(17)に実際に普段の取り組みをみせていただきました😊



顔まわりも丁寧に拭いてあげます🌟



真剣に調教練習中!

ブラッシングを体験させてもらいました！
想像以上の力仕事🌟
またこの日は暑さが厳しい日…
体力だけでなく、
気温との戦いでもあることを
身をもって感じました。



1. 全共に向けてどんなことに取り組んでできましたか？

「みつゆり」は体上線が弱かったので、つなぎ運動などをし、強くするため取り組んでできました。調教練習でも、地域の調教師の方に分からないことを聞くなどして解決してきました。また、放課後にもつなぎ運動や調教練習、合間をみつけて発表の練習など、授業とプラスで練習してきました。

2. 独自の取り組みを教えてください。

邑南町、JALまね島根おおち地区本部、西部農林水産振興センター、地元農家、矢上高校とで石見和牛プロジェクトを創設していて、人材育成と地域振興につなげるため一体となり取り組んでいます。「みつゆり」の母牛「みつひら」は、第11回全国和牛能力共進会高等登録群の県代表候補牛に挙げられたとても優秀な繁殖雌牛です。しかし、飼育農家の方が体調を崩され、飼育を続けるのが困難な状況となりました。「優秀な繁殖雌牛であり、地元に残したい」という農家や地域の方々の熱い思いを受け、矢上高校で「みつひら」を飼育することにしました。全共のテーマである「和牛新時代 地域かがやく和牛力」のテーマにそった牛を育てるため、地域との連携を強みに取り組んでいます。また、地元の小学生に牛のブラッシング体験をしてもらったり、自分たちが牛について発表したりと牛の魅力についても伝えています。

3. 特に頑張ったことは何ですか？

体上線の緩さを克服するため、つなぎ運動や引き運動などをして、とにかく体上線を強くみせられるよう、トレーニングしました。どう工夫したらいいかも周りの方にいい方法を聞いて取り組みました。

4. 嬉しかったこと、やりがいを感じたことは何ですか？

調教など、なかなか最初はうまくいかないことも多かったですが、だんだんと体上線も強くなり、調教でも言うことをきけるようになって、牛との距離も近くなりました。地域の方から「良くなってきたね」と言ってもらえたときは嬉しかったし、頑張ってきたかきがあったなと思いました。

5. 県代表牛最終選抜会に向けた意気込みをお願いします!!

体上線を強く見せたり、調教したりなど今まで頑張ってきました。地域の方との関わりの強さを多くの人に伝えたいです!!

畜産農家・牛の魅力
についても
教えていただきました

世話してきた牛から赤ちゃんが生まれた時、畜産に関わっていて良かったなと思います。
みんなで名前を考えられるのも楽しみの一つです！
牛は可愛い！育てていくと愛着がわきます😊また、牛は言葉は話せないけど、私たちが世話をした分だけ反応を返してくれるのが嬉しいです。



飼料・肥料価格高騰の影響を受ける組合員の皆さまへ緊急支援のお知らせ

令和4年6月

J Aしまねでは、農業資材の高騰による農業経営への影響を緩和すること、また消費者の生活に欠かせない農畜産物の供給（生産）基盤を維持することを目的として、当J Aで飼料、肥料を購入いただいた生産者を対象に、以下のとおり、緊急対策を実施することとしました。

J Aしまねは引き続き、国・県への要請活動も含め、あらゆる方法で生産者の皆さまを支援してまいります。

令和4年度J Aしまね飼料・肥料高騰対策の内容

対象となる方	J Aしまねで飼料・肥料をご購入の生産者（J A内部取引先、行政機関は除きます）
対象期間	令和3年度第4四半期～令和4年度第4四半期（計15か月間）
支援額	対象期間中の飼料購入額の1.0%および肥料購入額の2.0%を基準とし支援します。 支援総額は1億5,000万円程度となる見込みです。
お支払方法	支援対象期間を3期に分け購入額を確定後、お取引先毎に振込処理を行います。 【第1期】令和3年度第4四半期（1～3月）～令和4年度第1四半期（4～6月） 振込予定日：令和4年7月27日 【第2期】令和4年度第2四半期（7～9月）～令和4年度第3四半期（10～12月） 振込予定日：令和5年1月27日 【第3期】令和4年度第4四半期（1～3月） 振込予定日：令和5年4月27日

【この件に関するお問い合わせ先】

（取組み全般に関すること） J Aしまね 改革推進室 TEL：0852-67-7716
（飼料（エサ）に関すること） 畜産部 TEL：0853-25-8590
（肥料に関すること） 経済部 TEL：0853-25-8745

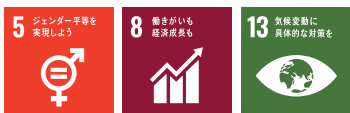


令和4年度新型コロナウイルス感染症及び原油価格・物価高騰等対策資金

新型コロナウイルス感染症や原油価格・物価高騰等の影響により経営の維持安定が困難となっている農業者の皆さまを支援します。

資金使途	農業経営の維持に必要な運転資金
対象者	下記の影響を受けている方 ①新型コロナウイルス感染症 ②原油価格・物価高騰等
融資限度額等	【①②両方の影響を受けている方】 年間経営費の18/12又は粗収益の18/12のいずれか低い額 （簿記記帳を行っていない場合は1,800万円） 【①②いずれか一方のみの影響を受けている方】 年間経営費の12/12又は粗収益の12/12のいずれか低い額 （簿記記帳を行っていない場合は1,200万円） ※新型コロナウイルス感染症及び原油価格・物価高騰等の農業経営への年間の影響額 又は影響見込額を対象とします ※島根県農業信用基金協会による原則無担保・無保証人の限度額 個人2,500万円、法人5,000万円（基金協会の特例により増額） ※なお、ご融資額については、融資審査後に決定いたします
融資利率	年0.10%（当初5年間はJ Aしまねの支援により無利子です）
信用保証料	年0.15% ※日本公庫資金（農業分野）の借入者は、島根県の保証料補給により不要。
償還期間	15年以内（うち据置期間3年以内）
取扱期間	令和4年6月22日から令和5年3月31日（融資実行分）まで

※本資金の詳しい条件などについては最寄りのJ A支店までお問い合わせください。



JALまねでは、SDGsの取組みの一環として、ジェンダー平等に取組み、職員一人ひとりが、働きやすい服装で仕事の効率アップ、働きやすい職場環境の整備を目指し、私服勤務試行期間を実施することとしました。組合員・利用者のみなさまにおかれましては、本期間につきましてご理解いただきますよう、お願いいたします。



働きやすい
職場環境をめざして、
私服勤務試行期間を
実施します。

期間 令和4年

8月1日(月) > 9月30日(金) までの 2か月間

実施店舗 全事業所、ただし、部署にて
固有の制服等がある部署
(典礼、小売店舗等)は除きます。

私服勤務試行期間における
服装・身だしなみの基本的な考え方

すべての組合員・利用者の方に好感を持っていただけるよう、第一印象を決める身だしなみを整えることは、重要な役割と考え、信頼と安心につながる身だしなみで業務に従事します。本期間においては、職員一人ひとりがこれまで以上に身だしなみを整えるよう心がけます。



Q 「適格請求書（インボイス）」制度導入に伴う農業者の留意点を教えてください。

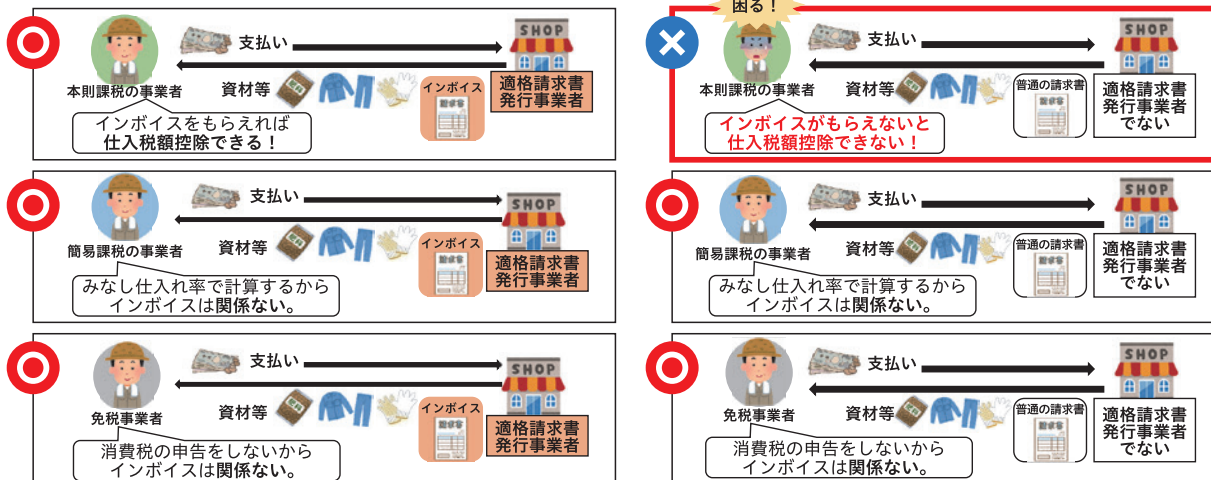
A 「適格請求書（インボイス）」制度の導入により、農業者が資材の購入等で相手先によって仕入税額控除が出来ない場合があります。「適格請求書（インボイス）」の発行事業者からの購入にて「仕入税額控除」が可能となります。「適格請求書（インボイス）」の発行事業者以外からの購入は「仕入税額控除」が出来なくなりますので、本則課税の事業者の方は資材等の購入先の確認をお願いします。

インボイス制度導入に伴う農業者の留意点



まずは、農業を営む上での基本的な取引についての影響を考えてみましょう。

資材の購入等、農業者が「買い手」の立場の場合





topics
1

「出雲やさい新話ファーム」を丸山県知事が視察！



JAしまねの子会社、JAいずもアグリ開発株式会社が運営する出雲市の高度環境制御栽培施設「出雲やさい新話ファーム」に6月19日、丸山達也知事が視察に訪れました。石川寿樹組合長や同社の担当者らが、温度、光、CO₂、培養液が自動で管理された育苗室を案内し、「サラノバレタス」が育つ仕組みなどを説明しました。

「出雲やさい新話ファーム」は2019年2月に稼働。環境条件をコンピューター制御し、92アールの16連棟温室ハウスでリーフレタス「サラノバレタス」を周年安定生産しています。

視察では、周年生産型の新たな農業経営モデルによる新たな担い手の創出や、作業を数値化・マニュアル化することで経営継続の課題解決に繋がると説明。石川組合長は「このような新しい農業があることを知っていただきたい。通年出荷ができるので特に若い方などで興味がある人に今後動めていきたい」と話しました。

「出雲やさい新話ファーム」は3期目の昨年度に黒字化。4期目を迎える今年度は販売金額1億9,800万円（税込）、年間生産量170万玉（6,000株/日）を計画し、さらなる増収を目指しています。



栽培ベッドの下に流れる培養液について丸山知事（左から2人目）に説明するJAいずもアグリ開発株式会社の柳楽俊介統括マネージャー（左）

topics
2

JA運営に反映を 総代代表者等との意見交換会を開催



JAしまねは6月6日、ウェブ形式で総代代表者等との意見交換会を開きました。各地区本部の総代代表者ら25人が参加し、営農経済や信用共済の事業改革などJA役員と活発に意見を交わしました。

意見交換会では、総代代表者らから「飼料・肥料等生産資材価格高騰に対して、JAとしてどのような支援を考えているか」「『地域になくってはならない存在』となるため、これまで以上に支援活動を行ってほしい」「米粉を利用する製造業が増えているが、JAとして米粉用の水稻は考えているのか」など、さまざまな意見をいただきました。

また、JA役員が令和3年度事業報告や令和4年度事業計画、第3次農業戦略実践3ヵ年営農計画、信用共済事業・営農経済事業改革の進捗状況などを説明。石川寿樹組合長は「着実に実践していくには経営基盤強化が必要。これまでに取り組んできた各事業改革をさらに進めていきたい」と力を込めました。

当JAでは、組合員の意見や要望を聞き、JAの事業運営に反映させることを目的に、年に2回意見交換会を開催しています。



意見に答える石川組合長



ウェブ形式で開催

topics
3

島根中酪株式会社「出雲のむヨーグルト」を新たに販売開始！



島根中酪株式会社はこの度、宅配を中心に販売してきた「飲むヨーグルト」の商品名とパッケージを一新しました。新たに「出雲のむヨーグルト」の商品名のもと、パッケージにはオリジナルキャラクターを描き、販売を開始しました。

同商品は安定剤・香料不使用、また県産の生乳を89.5%使用しているため、濃厚でコクがあり、舌触りもなめらかな“生乳の味を楽しめる”のが特徴です。



PRする角田部長

同商品が好きだという闘病中のお子さまがいるご家族の方が“取り扱っている店が少なく、探すのに苦労した”ということを知り、多くのお店で取り扱ってもらえるようにとリニューアルを決意。キャッチフレーズの「ちゅーっと、シアワセ！」には、どんな時も「ちゅーっ」と飲んで「シアワセ！」を感じてほしいとの想いが込められています。また、見た目からもハッピーになってもらおうと、新たに誕生した元気いっぱいのおんなのこ「ちゅーちゃん」と、ミルクのようせい「らくちゃん」のオリジナルキャラクターをパッケージに描きました。

営業部部長の角田祐子さんは「多くの方に飲んでいただきたいとリニューアルした。今後はオリジナルキャラクターを活用した商品を増やしていきたい」と話しました。



一新した出雲のむヨーグルト

令和4年度島根県乾椎茸品評会を開催！

ＪＡしまねは6月7日、ＪＡ営農経済本店で令和4年度島根県乾椎茸品評会を開きました。県内から86点が出品され、審査の結果、松田美知子さん（島根おおち地区本部）の「どんこ」が最高位となる島根県知事賞を受賞しました。

今年産は、冬にかけての雪や春先の雨量が少なかった影響で、椎茸の発生量が少なかったため、良品や規格を揃えるのが難しい状況でしたが、今回は生産技術の高い出品物が揃いました。

品評会では、審査員4人が傘の形状や大きさが規格に照らして揃っているかを審査。松田さんの「どんこ」について、審査委員長を務めた県農林水産部林業課の林真弘統括林業普及員は「大きさが揃っていて、傘のひらきや縁の巻き込みが均一だった」と講評しました。

6月16日には授与式を開催し、受賞者へ表彰状を手渡しました。松田さんは「夫と二人三脚で取り組んできた。頑張ったことへのご褒美をいただき嬉しい」と喜びを話しました。上位6点は、8月に開催予定の全国品評会へ出品されます。

その他の受賞は次のとおりです。

- ・日本椎茸農業協同組合連合会会長賞
＝（株）藤若農産（いわみ中央地区本部）「こうこ」
- ・全農麦類農産部長賞
＝奥本一徳（いわみ中央地区本部）「こうしん」
- ・（一財）日本きのこセンター理事長賞
＝奥本一徳（いわみ中央地区本部）「茶花どんこ」
- ・森産業株式会社社長賞
＝小笹忠重（いわみ中央地区本部）「どんこ」
- ・島根県農業協同組合長賞
＝奥本一徳（いわみ中央地区本部）「どんこ」



受賞を喜ぶ松田さん（左から2番目）ら

令和4年度島根緑茶品評会を開催！

ＪＡしまねと島根県茶業振興協会は6月17日、ＪＡ営農経済本店で、令和4年度島根緑茶品評会を開きました。県内4組合から7点の出品があり、審査の結果、出雲市の株式会社出雲精茶の「やぶきた」が最高位となる農林水産省中国四国農政局長賞を受賞しました。

今年産は、1月末から2月末までの気温が低めだったことから、萌芽が平年並みより遅く推移しましたが、昨年のような晩霜被害もなく順調に生育しました。

品評会では審査員8人が、形状や色沢をみる外観、熱湯を注いだ茶葉の香りをみる香気、お茶を煎れた時の色をみる水色、煎れた茶の味わいをみる滋味の4項目を審査。審査長を務めた県農業技術センターの瀬尾光広所長は出雲精茶の「やぶきた」について「つや、色味が良く、非常に丁寧に仕上げられていた」と講評しました。

その他の受賞は次のとおりです。

- ・島根県知事賞
＝ＪＡしまね大東製茶加工所（雲南市）「やぶきた」
- ・全国茶生産団体連合会長賞
＝住江茶業組合（江津市）「やぶきた」
- ・島根県農業協同組合長賞
＝有限会社宝箱（松江市）「やぶきた」
- ・島根県茶業振興協会長賞
＝株式会社出雲精茶（出雲市）「さえみどり」



外観を審査する審査員

お知らせ

次回8月号は総代会特集！

6月26日(日)に開催した第8回通常総代会の様子は、8月号の特集面にてご紹介いたします。

本来であれば7月号にて皆さまにお繋ぎすべきところですが、作成スケジュールの都合上8月号への掲載とさせていただきます。

なお、総代会情報は、先行して当ＪＡのホームページへ掲載していますので、ぜひご覧ください。



イベントのお知らせ

ＪＡしまねは、下記の日程で花のイベント「しまね夏の花展示会」を開催します。皆さまのご来場をお待ちしています！！

開催期間：7月23日(土)～24日(日)
場 所：ゆめタウン出雲 本館1階 エクセル前特設会場（出雲市大塚町650-1）
問い合わせ：ＪＡしまね米穀園芸部園芸販売課（TEL）0853-25-8694



①私たちが選んだ花賞～来場者投票～

投票いただいた方には抽選でお花のギフト券が当たるかも！？／
今年は来場された皆様に審査いただく「来場者投票」を実施します。
会場に展示された花の中から「これが一番！」と思ったお気に入りの花に投票してください🌻

【投票時間】

7月23日(土) 9：30～17：00 7月24日(日) 9：30～12：00

★特典★

投票していただいた皆様に花のプレゼントを用意しています🌻
※無くなり次第終了（両日合わせて先着300名様を予定しておりますのでご了承ください）

②親子フラワーアレンジメント体験教室

来場した親子先着50名様を対象に実施します。
7月23日(土) 10：00～16：00

③お花の即売会

展示された花を特別価格で販売します！
7月24日(日) 12：00～15：00

注）新型コロナウイルス感染拡大状況により内容を大きく変更する可能性がありますのでご了承ください。



想いをひとつに✿ しまねの女性部!

くにびき女性部

令和4年度は、JA女性組織3か年計画「JA女性 想いをひとつに かなえよう」の実践初年度です。

つながろう

まもろう

かがわろう

の3つの具体的目標を掲げ活動します。

つながろう

(仲間と・地域と・他組織と・次代と)

JAしまねくにびき女性部は、10の支部、11のグループに加え、令和3年4月には新たにフレッシュミズ部会を立ち上げ、総勢716名で活動しています。

令和3年度はコロナ禍で思うように活動ができない中、感染対策を行いながら「佐太神社参拝」「女性部健診」等の活動を行いました。また「JAしまねくにびき女性部研修会」を開催し、『家の光』についての研修や朗読会、部員による記事活用体験発表を行いました。研修会ではフリーアナウンサーとして活躍されている「おがっち」こと小片悦子氏の特別講演も行い、会場は笑顔であふれていました。

令和4年度は「こんにやく作り」「味噌作り」等の加工体験や、「松江城」「菅田庵」を訪ね、地域の歴史を学ぶ活動を計画しています。これからも仲間とのつながりを大切にし、笑顔あふれる活動を行っていきます。



「おがっち」こと小片悦子さんの講演の様子



令和3年4月24日 フレッシュミズ部会設立総会



佐太神社参拝



一所懸命青年連盟

JALしまね出雲青年連盟

JA YOUTH

つるみ あきひろ
鶴見 彰浩さん

地産地消に取り組み、
農業を通して、
地域に
貢献していきたい



JAしまね出雲青年連盟（以下、農青連）に加入している鶴見彰浩さん（41）。出雲市高松町で年間約2ヘクタールの農地でブロッコリーや白ねぎ、キャベツ、枝豆、キュウリなど多くの野菜を栽培しています。今年で就農9年目を迎え、毎年様々な野菜栽培に挑戦し、自分に合った品目や世間のニーズに合った品目を模索しています。

農業を通して「地道に続けていけば道は開ける」ということを一番感じたという鶴見さん。野菜が思うように育たなかったり、ベテランの先輩農家から厳しいことを言われたりと決して順風満帆ではなかった中、それでも地道に続けてきたことで「今ではやりがいを感じて野菜栽培を続けられている」と話します。

現在は出雲支部の役員を務め、食農教育や地元の農業祭りへ積極的に参加するなど活動を広げている鶴見さん。農青連の盟友が生き生きと生活している姿を見せることで、農業のイメージは大きく変わると考えています。

「まだまだ農家として経験は浅いですが、これからも地道に農業経営を続け、新規就農を考えている人へ必ず道は開けるということを示していきたい」と意気込みを語りました。未来の新規就農者の『道標』の一つになれるように、これからも地道な努力は続きます。



家庭菜園

タアサイ

園芸研究家 成松 次郎

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

霜に当たるとおいしさが増す

タアサイはツケナの仲間、中国語で「場菜」と書きます。「場」は「つぶれる」という意味です。葉は平たく杯状に広がっており、さじ状で縮れがあり、日本の野菜では「キサラギナ」に似ています。チンゲンサイと共に、代表的な中国野菜です。

品種

品種分化が少なく「緑彩二号」(サカタのタネ)、「タアサイ」(タキイ種苗など)として販売があります。

畑の準備

種まきの2週間前までに1平方m当たり苦土石灰100gをまき、酸度を矯正しておきます。1週間前までに堆肥1kgと化成肥料(NPK各成分10%)100gを施し、土とよく混ぜておきます(図1)。次に、幅1m、高さ5cm程度の栽培床を作ります。

種まき

春まきでは条間15cm、株間15cm、秋まきで大株にするには条間20cm、株間20cmに1カ所5、6粒の点まきをします(図2)。発芽まで土が乾かない程度

に灌水(かんすい)し、発芽後は土が乾いたらたっぷり与えます。なお、ポリマルチを使うと、生育の促進に加え、土が葉の間に入るのを防ぐ効果があります。種まき後は防虫ネットでトンネルを作り、害虫から保護します。また、べたがけは発芽促進と害虫の防止になるため、1カ月程度被覆するのも良いでしょう。

間引き

1回目は発芽後、込み合っている株を除き、2回目は本葉2、3枚の頃に2本、3回目は本葉5、6枚の頃に1本にします(図3)。

追肥

大株に育てるには、最後の間引きの半月後に化成肥料を畝間にばらまき、軽く土寄せします(図4)。

病害虫防除

アブラムシやアオムシ、ヨトウムシなどが発生します。アブラムシには粘着くん液剤など、アオムシ、ヨトウムシにはトアロー水和剤CTなどを使用します。長雨のときは、べと病や白さび病が発生しやすいので、株間を少し広めに取ります。

収穫

春まきでは株が立性になり、草丈25cmくらい、秋まきでは、葉は大きく広がり開張性になり、上から見て直径20cmくらいから収穫を始めます(図5)。寒い時期になるとおいしさが増してきます。収穫後は広がっている葉を内側につぶめてひもで縛ると扱いやすくなります。

図1 畑の準備



図2 種まき(秋まき)

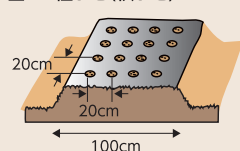


図3 間引き

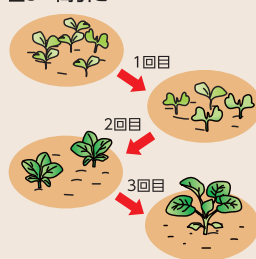


図4 追肥

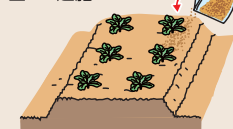
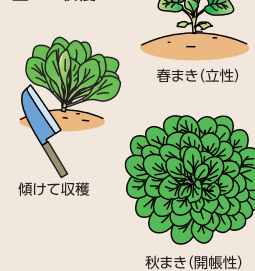


図5 収穫



組合員からの情報提供窓口について

当組合の監事は、経営の健全な発展に資するため、農協法(法第35条の5)および農協法施行規則(第81条)に基づき、理事の職務の適正な遂行を阻害する行為に関する情報(組合経営に関する事象に限る)の提供を受けています。

当組合理事の組合経営に関する気になる行為について、封書またはEメールにて下記宛に連絡くださいますようお願いいたします。

島根県農業協同組合 監事会

連絡先: 住 所 〒690-0887 松江市殿町19番地1
Eメールアドレス kanji.hon@ja-shimane.gr.jp
部 署 名 監査部
受 付 監 事 常勤監事

※当組合の業務に関する一般的な苦情については、担当部署または支店で受付けていますのでご利用ください。
※ご厚意による情報提供であっても、誹謗・中傷に類似する内容のものは受付いたしかねますので、予めご了承ください。

【協議事項】

- ①令和4年7月1日付け本店の機構改革の実施について
- ②東・中部 広域米倉庫の新設について
- ③第3次農業戦略実践3カ年営農計画について
- ④令和4年度補助事業の実施について
- ⑤農業振興支援事業要項の改正について
- ⑥令和3年産島根米買取価格の設定について
- ⑦産直事業におけるインボイス対応について
- ⑧JAしまね肥育センターの今後の方向について
- ⑨現金取扱(硬貨受払・両替)手数料の改定について
- ⑩令和3年度決算の承認について
- ⑪経営基盤強化積立金規程の一部改正について
- ⑫第8回通常総代会への附議議案について
- ⑬令和4年度業績還元額の取扱いについて
- ⑭通常総代会にかかる「総代会参考書類」および「議決権行使書」の取り扱いについて
- ⑮系統団体および関連団体等への役員就任について
- ⑯地区本部運営委員会運営規程の一部改正について
- ⑰組合員帛事および見舞金規程の一部改正について
- ⑱役員増資運動要項の設定について
- ⑲「特定非営利活動法人フードバンクしまねあったか元気便」の設立および加入について
- ⑳「協同組合YADDO知夫里島」への加入について
- ㉑役員報酬総額等の設定について
- ㉒退任役員に対する退職慰労金の支給について
- ㉓人材育成基本方針の策定および非正規職員の人事制度統一に向けたコンサルタントの導入について

組んでいます。

～くにびき地区本部の取り組み～

米の鑑定研修会実施 検査員の技術向上を目指す

くにびき地区本部は6月9日、10日の両日、同地区本部の営農総合センターで農産物鑑定研修会を開催し、同地区本部職員で農産物検査員の資格を持つ、20名が米の品位や品種を鑑定しました。

同研修会は、検査員の検査技術の向上や適正な検査の実施を目指し開催。例年、JAしまねが県内の検査員を対象に開催していましたが、本年も新型コロナウイルス感染症の影響で地区本部ごとの開催となりました。

当日は、品位鑑定と品種鑑定の2種類の鑑定を実施。

品位鑑定では、うるち玄米20点、醸造用玄米10点、もち玄米10点を対象に整粒や形質の品位などを見定め、被害粒や着色粒などに注意しながら、どの等級に区別できるかを見極めました。

品種鑑定では、うるち玄米6点、もち玄米4点を対象に「きぬむすめ」「つや姫」「コシヒカリ」などの品種を鑑定しました。

検査した指導販売課の高松葉職員は「研修会でしっかりと目合わせをし、適正に検査できるように努めたい」と話しました。



鑑定する検査員

組んでいます。

～くにびき地区本部の取り組み～

くにびき女性部文化歴史・趣味グループ開講 松江城を散策し地元の良いさを再発見！

JAしまねくにびき女性部（中島和子部長）は6月6日、目的別グループの文化歴史・趣味グループを開講し、松江城を散策しました。

当日は16名の部員が、松江城大手前駐車場近くの堀尾吉晴公の銅像前に集合。松江市観光ガイドの説明を受けながら、敷地内にある興雲閣や松江神社などを巡り、最後は天守閣に登りました。

松江城は全国に12城しか残っていない現存天守の一つです。現存天守は江戸時代またはそれ以前に建てられた貴重な建物で、その中でも慶長16年完成の松江城天守は、彦根城、姫路城と並び、近世城郭最盛期を代表する天守として国宝に指定されています。

梅雨の時期にかり、当日は小雨が混じるあいにくの空模様でしたが、参加者は身近にある名所の再発見と、建物が醸し出す雰囲気松江の歴史を感じていました。



堀尾吉晴公の銅像前で記念撮影



松江城を見学する参加者

農業者の所得増大・農業生産の拡大に向けて取り

良質米栽培に向け、指導会を実施

くにびき地区本部は6月9日・10日に管内の4か所で「令和4年産米水稻栽培指導会」を実施し、計42名が参加しました。

同指導会は、これからの水管理をはじめとする水稻栽培管理を通じて、良質米生産につなげようと開催したものです。

当日は、管内の生育状況、肥培管理や収穫調整など今後の栽培管理のポイントやつや姫の出荷に際しての注意点を説明。また、稲株を見ながら、稲の適切な葉色・茎数についても確認しました。

くにびき地区本部指導販売課の石倉治夫指導員は「これからの時期は特に水の管理が重要になる。今後の雨量にもよるが、適期中干しを実施し、幼穂形成期には水不足に注意してほしい」と説明しました。

参加者は「カラー写真が載っていて分かりやすかったです。実物を現場で見せてもらえる機会があるとありがたい」と話しました。



参加者の質問に答える石倉指導員(左)



営農指導員の説明に耳を傾ける参加者

組合員のアクティブメンバーシップ確立に向けて取り

女性部「グループ秋桜」の作品がちぎり絵作品展に出展

JASHまねくにびき女性部「グループ秋桜」(井上紀美枝代表)は6月2日から6月5日まで東朝日町の中電ふれあいホールにて開催された「松江ちぎり絵サークル春季展」に作品を出展しました。

この作品展の主催者である「松江ちぎり絵サークル」の代表を同グループに所属している森山許代さんが務めていることもあり、昨年行われた「松江ちぎり絵サークル50周年記念展」に続いての参加となります。

同グループは6名のメンバーで構成され、毎月1回学習会を開催し、それぞれが自宅にて作品作りを行っています。当日は、同グループのメンバーのうち4名の作品が展示されました。森山許代さんの『薔薇』、井上紀美枝さんの『夕暮れの大山』、今岡節子さんの『山路』、岸本みや子さんの『すみれ』など花や自然をモチーフとした美しい作品の数々が展示され、来場者を魅了しました。



森山さんの作品『薔薇』



井上さんの作品『夕暮れの大山』



グループ秋桜のみなさん



作品を眺める来場者

でいます。

～くにびき地区本部の取り組み～

農業の魅力を感じ！
くにびき青年連盟と育英北幼稚園園児が
田植え体験

くにびき青年連盟（上山根有史委員長）は6月1日、農業の魅力を感じてもらおうと、育英北幼稚園つき組（年長5歳児クラス）の園児25名を招いて、田植えを行いました。

当日は、くにびき地区本部の北側にある7aの水田に集合し、上山根委員長が「根っこを残して苗をちぎり、指の2本目の線まで植えて、苗を踏まないように歩いてください」と実演を交えながら説明しました。

苗を手にした園児は横一列に並び、合図に合わせて一歩ずつ進みながら田植えを行いました。園児は土に足をとられたり、尻もちをついたりして、泥まみれになりながらも楽しそうに植えていました。

青山蘭那さん（6）は「苗を植えるのが楽しかった。裸足で田に入って気持ちが良かった」と笑顔で話しました。

田植え後、畑日奈乃さん（6）から「田んぼの泥はどうして足が抜けないの」と質問があり、上山根委員長が「田んぼの泥はお米のお布団のようなもので、柔らかくなっているから抜けにくいんだよ」と回答しました。



盟友や先生達と苗を植える園児

今回植えた苗は、青年連盟で管理し、10月に稲刈り体験を予定しています。



泥まみれでも笑顔の園児



にっこり笑顔で はい、ポーズ！

くにびき青年連盟と女性部がコラボ！
サツマイモの苗植えを体験

くにびき青年連盟（上山根有史委員長）とくにびき女性部（中島和子部長）は6月4日、東出雲町の中海干拓地の圃場に、紅はるか苗2,700本を植えました。

この苗植えは、秋の「ふれあい親子いもほり大会」に向けて行われており、今年で32回目を迎えます。

当日は、爽やかな晴天の空の下に盟友や女性部、JA職員など約30名が参加。

まず上山根委員長から「火ばさみで先端をつかんで斜めに植えます。浅く植えると根が乾いて枯れやすくなるので、深めに植えるようにしてください」と植え方について説明を受けた後、苗植えに移りました。

参加者は、苗を畝に置く人と火ばさみで苗をはさんで植える人で役割分担し、順々に植え付けを行いました。作業をしながら、20aの畑に並ぶ約80mの畝の前に、イモが大きく育つようにと願いを込めました。

秋のいもほり大会の参加受付は、9月から行う予定となっています。



苗を植える参加者



苗植え後に記念撮影

地域活性化に向けた地域貢献活動に取り組ん

親子で楽しい農業体験！ 子育て応援イベント開催！

くまびき地区本部は6月11日、親子で農業体験を楽しむ「子育て応援イベント」を開催し、38世帯124名が参加しました。

これは、親子で農業体験を行い、農業に関する理解を深めてもらうことを目的として企画したものです。

当日は、同地区本部前花壇に植えられたタマネギの収穫と、プランターで栽培できるミニスイートマトの植え付けに挑戦しました。

はじめに、営農指導員が「今年のタマネギはとて大きく育ち、根が張っているので横に倒すようにして収穫してください。収穫後は風通しの良い場所で乾燥させて保管してください」と説明。子どもたちは、沢山採れたタマネギを手に満足した表情を浮かべていました。その後、親子で協力してプランターへ土と肥料を入れ、しっかりと混ぜ合わせたものにミニスイートマトの苗を植え付けました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、短時間ではありましたが親子で「農」と触れ合う機会となりました。

参加した親子からは、「農業に触れる機会が無いのでとても良かった」「分かりやすい説明で苗植えは楽しく勉強になった」と喜びの声を寄せられました。



いっぱい獲れて大満足！

「分かりやすい説明で苗植えは楽しく勉強になった」と喜びの声を寄せられました。



プランターに土を入れる子ども



タマネギの収穫に挑戦！

地元の特産品を知ろう！ 八束学園の8年生が牡丹について学ぶ

八束特産事業所は6月29日、松江市立義務教育学校八束学園の8年生に「松江大根島牡丹」の魅力をPRしました。

八束学園の8年生は、総合的な学習の時間に、地域の魅力に触れるため八束町の特産物について学習しています。

当日は、同学園の生徒4名が八束支店を訪れ、大輪で色鮮やかな花が人気を集めている牡丹について学習しました。

同事業所の錦織貴裕職員は、「八束町の牡丹は海外でも高い評価を得ていること」や、「昭和30年頃から栽培において重要な役割をもつ接木の技術が発達し、町内で徐々に広がっていったこと」などを説明しました。

生徒たちは疑問に思ったことを質問し、理解を深めていました。梶谷緑人さん(13)は「昔は牡丹を販売するために、奥さんが背負い籠をして全国を回り、旦那さんとその場所に牡丹を送っていたという話に驚いた」と感想を述べました。

錦織職員は「地元について新しい発見をしてもらえて良かった。八束町の特産品についてもっと自信や誇りをもってもらえると嬉しい」と話しました。



錦織職員(左)の説明に熱心にメモをとる生徒たち



牡丹苗の出荷場を見学する生徒たち

組合員のアクティブメンバーシップ確立に向けて取り組んでいます。

～くにびき地区本部の取り組み～

宍道支店運営委員が サツマイモ苗植えを実施!

宍道支店運営委員会（伊原幸俊委員長）は6月11日、支店運営委員の狩野和由さんの圃場でサツマイモの苗植えを実施しました。

この活動は、運営委員と支店職員の繋がりを強めるとともに、農業経験の少ない支店職員が農業体験を行うことを通じて、農業の理解を深めるために企画したものです。

当日は、同運営委員や同支店職員、職員の子供など16名が参加しました。

初めに狩野委員より苗の植え方について説明があった後、一斉に植え付け作業を開始。運営委員のメンバーが子供の隣で教えながら一緒に植えるなどし、和やかな雰囲気の中で作業が進みました。

伊原委員長は「今年度最初の企画で実施した。職員をはじめ未来を担う子供たちが農業を好きになれば、これほど良いことはない」と話しました。



苗を植える参加者

体験した職員は「運営委員の方々に手取り足取りご指導していただき、とても充実した時間だった。収穫が楽しみ」と感想を述べました。

今後は、運営委員と支店職員が協力しながら圃場管理をし、秋には収穫作業を行う予定です。



子どもに苗の植え方を教える伊原委員長



みんなで記念撮影

値下りします!

8月
から
電子版
新価格

購読料1カ月(税込み)

2,403円

※令和4年7月までは2,623円です。

※本紙は2,623円です。

●購読のお申し込みは各支店
または総務課(TEL:55-3000)まで!

THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS
日本農業新聞
<https://www.agrnews.co.jp>

知る、活かす、つなぐ～JAグループ情報共有運動



JＡしまねくにびき女性部フレッシュミズ部会

「サンサンフレッシュ」部員募集中!

フレッシュミズ部会とは、食や農業に関心のある女性が集まった組織で、料理教室、農業体験など多彩な活動に取り組んでいます。

◆入部資格：以下の(1)(2)の両方を満たす方

(1) 松江市内に在住されている20～50歳代の女性

(2) JＡしまねの組合員

(組合員以外の方は一口1,000円からの出資で加入していただきます)

◆会費：500円/年(入部時に申し受けます)

今年度の活動については下記のとおりとなります。詳細については入部時にご案内します。

申込は随時
受付中!

今後の活動予定

9月17日(土) 10:00～11:00 『矢田の渡しガイドクルージング』

ガイド：矢田渡船観光 場所：朝酌矢田渡船乗り場

朝酌矢田渡船乗り場から矢田の渡しに乗船し、ガイドクルージングを楽しみます。

参加料：1,200円 参加予定数：25名

12月17日(土) 9:30～12:00 『ロングネックレス&リース型アレンジメント』

講師：永瀬美和氏、JAグリーンつだ職員 場所：くにびき地区本部San・san館

テラヘルツやヘマタイトなどのストーンを使ったロングネックレスと、リース型のフラワーアレンジメントを作ります。

参加料：3,500円 参加予定数：25名

※諸般の事情により日時、場所等を変更、中止とする場合がありますのでご了承ください。

※開催時期が近づきましたら、詳細を改めてご案内いたします。

お申込み・お問い合わせ

JＡしまねくにびき地区本部 企画総務部 総務課

TEL:0852-55-3000 FAX:0852-32-6870 Email:community-affairs.kun@ja-shimane.gr.jp



料理



園芸



健康



手芸

“家活”で

年6回
別冊付録付き

暮らしイキイキ!!



定価(税込)

●普通月号 629円

●付録月号(1・4・5・7・9月号)922円

●家計簿付き12月号 1,027円

お申し込みはお近くの各支店または総務課(TEL:55-3000) JAグループ 家の光協会

くにびき女性部がお届けする 松江に伝わるふるさと料理

新ジャガイモのコロコロコロッケ 新タマネギの梅あえ



今回は新ジャガイモと新タマネギを使ったレシピを紹介します。
新ジャガイモのコロコロコロッケは、一口サイズで食べやすく子どもに大人気。グリーンピースやシーチキンを入れても美味しいですよ。新タマネギの梅和えは、シャキシャキとした食感と梅のさわやかな風味が夏にぴったりです。辛みも少なく食べやすいのでぜひ作ってみてください。

【新ジャガイモのコロコロコロッケ】(4人分)

- ・新ジャガイモ…………… 400g
- ・もめん豆腐…………… 150g
- ・鮭フレーク…………… 50g
- ・冷凍スイートコーン…………… 50g
(熱湯をくぐらせ水気を切っておく)
- ・片栗粉…………… 大さじ2
- ・小麦粉…………… 適量
- ・溶き卵…………… 卵1個に水小さじ2
- ・パン粉…………… 適量
- <A>
- ・砂糖…………… 大さじ1
- ・塩コショウ…………… 少々
- ・マヨネーズ…………… 大さじ2

【作り方】

- ①ジャガイモを半分に切りゆでる。やわらかくなったら湯を切り、皮をむく。熱いうちにフォークでつぶしく<A>の調味料を加え味を調える。
- ②もめん豆腐をキッチンペーパーで包んで軽く押し水気を切り、ボウルに入れヘラでつぶす。鮭フレーク、スイートコーン、片栗粉を混ぜ合わせ、①を加えよく混ぜ合わせたら、3cm程度に丸める。
- ③小麦粉、溶き卵、パン粉の順で衣をつけ、きつね色にカリッと揚げたら完成。

【新タマネギの梅あえ】(4人分)

- ・新タマネギ…………… 300g
- ・梅干し…………… 大2個
- ・塩…………… 少々
- ・酢…………… 小さじ2
- ・みりん…………… 小さじ1
- ・ごま油…………… 小さじ1

【作り方】

- ①タマネギをくし切りにする。熱湯でサッとゆで、ざるにあげ水気を切る。ボウルに移し、塩、酢を加えてからめる。
- ②梅干しは種を取って果肉を刻む。①と別のボウルに入れ、みりん、ごま油を加えよく混ぜ合わせる。
- ③タマネギが冷めたら汁気を切り、②のボウルに入れてあえたら完成。

今月の料理人

八雲支部 (左から)
金崎 京子 さん
石倉久美子 さん
岩田 悦子 さん



【ポイント】

新ジャガイモのコロッケは、衣をつける際ボウルの中で3~4個ずつコロコロ回しながらつけるときれいに丸くなります。
新タマネギの梅あえは、歯ごたえが残るくらいにサッとゆでるのがコツです。

自動車センター休業日のお知らせ

くにびき地区本部 自動車センターは下記の期間を休業とさせていただきます。
緊急時は、JAF (#8139局) までご連絡ください。(※有料となる場合がございます。)

休業期間:8/11(木)~8/16(火)

8月くにびき地区本部 各種相談会カレンダー (税・ローン)

※各相談とも無料でお受けしています。

日	曜日	相談会内容	場所・予約先電話番号・時間
4	木	税務相談会	津田支店 (TEL:24-1818) 10:00~12:00
5	金	税務相談会	くにびき統括支店 (TEL:55-3028) 10:00~12:00

※税務相談会のご予約は、開催日2日前までをお願いします。予約先:開催会場となる支店

○くにびき統括支店ローン営業センターでは、土曜日(10:00~15:00)に休日住宅ローン相談を実施しています。要予約。

※8月の土曜営業日は20日です。

◆お問い合わせは

☎0120-988-380

8月 ふれあい訪問日

8月17日(水)・18日(木)

JA共済にご加入のみなさまへ

JA共済
からの
お知らせ

全国で増加 住宅等の建物修理に関する **トラブル** にご注意ください!

こんな勧誘に
ご用心!

JA共済から指定されていますので、
安心してください。

お宅の屋根瓦ゆがんでますよ。共済金の支払対象になりますし、
共済金の範囲内で修理しますので、お客さまの**自己負担はありません!**
もし請求手続きが面倒であれば、手続きも代行しますよ!?



あら、それは
いいわね。

と、うっかり応じてしまうと...

こんなことも...

1 うその理由での請求を 勧められた!

「台風が原因と言えば問題
ないですから」と、**うそ
の理由**で共済金請求を
するように勧められた!

うその理由による共済金請求は、
共済金詐欺に該当するおそれがあります。

共済金詐欺に
あたらないかしら...



こんなことも...

2 法外な解約料金を 請求された!

見積書の金額が高すぎるので、
知り合いの業者に頼もうと思
い解約しようとしたら、**高額な解
約料金を**請求された!

支払われた
共済金の50%なんて
聞いてないよ!



こんなことも...

3 ずさんな工事をされた!

見積書の内容どおりの工事を
してもらえず、引渡後すぐに
雨漏りが発生した!

お金を
返して!



ご注意 建物修理トラブル

「共済金**が使える**」と言って建物修理の勧誘を受けたときには、
建物修理契約を締結する前にまずJAに
ご相談ください!



JA共済

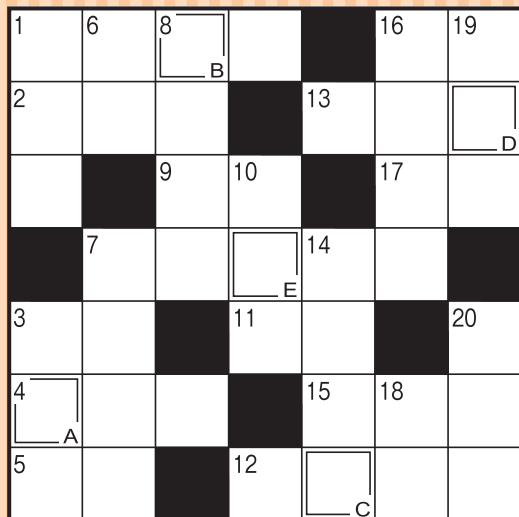
くまびき地区本部情報

CrossWord Puzzle

クロスワードパズル

二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

出題●ニコリ



答え

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

タテのカギ

- ①東海道新幹線の愛称の一つ
- ③天気予報で使う単位はヘクトパスカル
- ⑥食事の——にしっかりと手を洗った
- ⑦ゾウガメのように水の少ない所でも暮らせる亀
- ⑧綿あめの芯棒に使うことも
- ⑩お化け屋敷で——満点の演出を楽しんだ
- ⑭胸びれを広げて滑空します
- ⑯東北三大夏祭りの一つ、秋田——祭り
- ⑰固体と液体を分ける方法の一つ
- ⑱マンションの賃貸情報に載っています
- ⑳「姿勢が悪いよ」と言われやすい姿勢

ヨコのカギ

- ①夏に咲く黄色い花
- ②行きは良い良い——は怖い
- ③レタスやゴボウは——科の植物です
- ④すし屋の符丁でお茶のこと
- ⑤能あるタカは隠してる？
- ⑦北海道の北部にある島。昆布やウニが名産品です
- ⑨停留所に止まります
- ⑪漢字などの横に小さな文字で振ります
- ⑫海からそよそよと——が吹いてきた
- ⑬英国の通貨単位です
- ⑮魚の下ごしらえをするときに取ることもあります
- ⑰草を刈るときに使います
- ⑱翼を持っています



応募要項



●応募方法

ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。

●賞品

正解者の中から抽選で40名（J Aしまね全体）の方に「農協全国商品券」をお贈りします。

●当選者発表

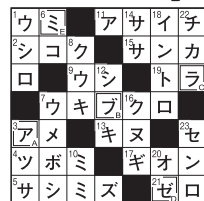
賞品の発送をもってかえさせていただきます。

●宛先・締切

〒690-0823 松江市西川津町1635-1
J Aしまね くにびき地区本部 総務課 「クイズ」係
2022年8月5日（金）（当日消印有効）

◆先月号の答え◆

「アブラゼミ」



俳句の広場

選句者「白魚火」編集長・副主任
安食彰彦先生

最優秀賞

真孤踏む神官の列厳かに

出雲市 森脇 英徳様

優秀賞

ほたる火の神代の闇に明滅す

出雲市 藤江 堯様

緑蔭の少女の服は牡丹色

安来市 斎藤美重子様

外つ国の人形も入れ雛飾る

浜田市 日原 紀子様

佳作

夏休肩になじんだランドセル
早苗田に山影映し暮れてゆく
平穏なひと日夕餉に豆の飯
朝採れの玉葱水のしたたりし
花吹雪どの児も走る下校坂

松江市 山根 茂雄様
出雲市 石橋 厚様
浜田市 三沢 孝子様
出雲市 北村 功様
邑南町 三宅伊知枝様

「家の光」でも俳句・川柳・詩・短歌を毎月募集しています。こちらへもぜひご応募ください！

「家の光」8月号定価 629円
ご購入は、お近くのJ Aへお問合せください。



J Aしまねびより、皆様からの俳句・川柳を募集しています。締切は毎月14日必着です。（最優秀賞1句、優秀賞3句、佳作5句）8月号は川柳を募集します。1回のご応募につきお一人様3句までご応募いただけます。

応募方法

俳句または川柳、住所、氏名、年齢、電話番号を記入のうえ、ハガキ、FAX、Eメールのいずれかでご応募ください。
※応募作品は自作で未発表のものに限ります。
※応募作品の一切の権利は、J Aしまねに帰属するものとします。
※受賞作品は地域名、氏名（または雅号）を掲載します。

あて先

〒690-0887 松江市殿町19-1
J Aしまね ふれあい福祉課
「俳句の広場係」または「川柳の広場係」
FAX：0852-67-7708
Eメール：fureai.hon@ja-shimane.gr.jp



最優秀賞、優秀賞の4名様には「農協全国商品券1,000円分」をお贈りします。

・お預かりした個人情報、プレゼントの抽選・発送のみに使用し、その他の目的で利用することはありません。

JALで行く

期間限定(出雲—新千歳 約2時間)

添乗員同行
バスガイド同行

直行便で行く

夏の北海道ぐるっと一周

7日間

登別温泉 湯の川温泉 札幌 稚内 知床ウトロ温泉 十勝川温泉

旅行期間 令和4年

8月22日(月)~28日(日)

旅行代金 (出雲縁結び空港起点・
大人お一人様2名1室利用・税込)

228,000円



掲載ツアーは、この広告でのお申し込みを受け付けておりません。
※詳しい旅行については、専用パンフレットをご用意しております。お気軽に下記販売店へご請求ください。



株式会社 農協観光

詳しくは
コチラから



山陰支店 TEL 0852-26-2600 JAしまね旅行センター本部 TEL 0853-25-8907



JALしまね 総合ポイントカード「おさいふカード」会員様へ

おさいふカード
会員募集中!!

優待割引のお知らせ



JALしまね ×



PARIS MIKI

メガネ一式
10%OFF!!

補聴器
5%OFF!!

ご利用の際には、提携店舗にておさいふカードをご提示ください。

提携店舗 島根県内パリミキ全店

※他の割引が併用できない商品・サービスが一部ございます。詳しくは係員にお尋ねください。

お問合せ



JALしまね

本店経済部経済課

(TEL) 0853-25-8912

本誌は地球環境に優しい植物性インキを使用しております。



* 電子レンジで簡単煮込みハンバーグ風



コメント

- ・火を使わず電子レンジだけで完成する料理は、暑い季節にピッタリ!
- ・トマトに含まれるリコピンは、生で食べるよりも加工した方がグッと吸収率がアップします。
- ・50度のお湯は、沸騰したお湯に同量の水を加えると50度になります。(給湯器のお湯はおおむね50度に設定されています)

材料 (4人分)

合挽肉…………… 300g
 玉ねぎ…………… 1/2個
 A パン粉…大さじ6(約20g)
 酒……………大さじ2
 塩……………小さじ1/2
 こしょう……………少々
 トマト……………2個(約300g)
 B しょうゆ……………小さじ1
 塩こしょう……………少々
 砂糖……………小さじ1
 ピザ用チーズ……………80g
 ブロッコリー……………1/2株

アレンジ

- ・野菜は茄子、ズッキーニ、南瓜、ピーマン、オクラ、ゴーヤ、きゅうり等なんでもOK!
- ・残った場合は、ご飯と混ぜてトマトライスに! 茹でたスパゲティと混ぜればミートスパゲティに!

作り方

- ①合挽肉は50度のお湯につけ(30秒〜1分間)、余分な脂とアクを取り、ザルにあげて水気をきる。
- ②玉ねぎは粗みじん切りにする。
- ③トマトはヘタを取り除き、2〜3cm幅に大きく切る。
- ④ブロッコリーは小房に分けて、5mm幅にスライスする。
- ⑤ボウルに①②とAを入れてよく練り混ぜる。
- ⑥耐熱皿にトマトとBを入れて混ぜ合わせ、その上に⑤を好みの大きさに丸めてのせ、チーズをかける。
- ⑦⑥の隙間にブロッコリーを置き、ラップをふんわりとかけ、レンジ(600w)で8〜9分間加熱したら完成。

材料 (4人分)

トマト……………3個(500g)
 きゅうり……………1本
 ツナ油漬…1缶(140g)
 青じそ……………10枚
 A しょうゆ……………大さじ2
 酢……………大さじ2
 砂糖……………小さじ1
 ごま油……………小さじ2
 にんにく(すりおろし)…小さじ1
 こしょう……………少々

作り方

- ①トマトはヘタを取り除き、2〜3cmの角切りにする。
- ②きゅうりは3mmの厚さに切り、軽く塩を振ってしばらく置き、水気を軽く絞る。
- ③ツナは油を軽くきり、青じそはせん切りにする。
- ④大きめのボウルにAを混ぜ合わせ、準備した①②③(青じそは半分残しておく)を加え、全体に味がなじむように和える。
- ⑤器に盛り、残しておいた青じそをのせたら完成。

コメント

- ・真っ赤に熟れたトマトは、低カロリーで栄養が豊富な夏の健康野菜です。
- ・ツナを加えることで栄養バランスもアップ! 青じその爽やかな風味も楽しめます。

アレンジ

- ・そうめんにかければ、カッペリーニ風に!
- ・うどんやそばにかければ、夏向きさっぱりとした麺料理にもなります。
- ・きゅうりを茄子やズッキーニ、スライス玉ねぎに替えてもOK!

* 夏野菜のツナ和え



JAしまね
公式ホームページ
JAしまね
検索



JA島根厚生連

健康散歩

夏本番となり、日焼けや紫外線をより一層感じる季節になりました。きちんと対策をしないと、身体のトラブルにつながることがあります。

紫外線を長期間浴びると光老化という現象が起き、しわやしみができます。光老化は、紫外線の強さと浴びた時間に比例します。また、年齢を重ねた肌ほど抵抗力が弱くなり、影響を受けやすくなります。しわやしみ以外にも、紫外線を浴びることで皮膚がんや白内障の発症リスクを高めるともわれており、身体に様々な影響を及ぼします。

紫外線の強さは、季節によって変化します。6〜8月が最も強く、7月にピークを迎えます。冬は夏に比べて紫外線量は減るとはいえ、全くないとは言えないため、注意が必要です。また、1日の紫外線の約60%が午前10時〜午後2時に集中しているといわれています。外出するときは、紫外線の多い時間帯を避けることも対策の一つですが、紫外線の多い時間帯に外出するのであれば、紫外線から身体を守るために肌の露出の少ない服装やつばの広い帽子、日傘などを活用しましょう。最近では、紫外線カット加工のされている服もあるので、そのような服を選ぶようにす

紫外線対策できていますか?

るとよいでしょう。さらに、日焼け止めを塗って、肌を守ることも効果的です。塗りむらがないように、しっかり鏡を見ながら塗りましょう。日焼け止めは、こすると効果が減退してしまうので、重ね塗りや2〜3時間ごとに塗り直すことをお勧めします。さらに、目を守るサングラスは、レンズの色が濃いと瞳孔が開き紫外線が入りやすくなってしまいますので、色の薄いものが好ましいとされています。曇りの日も、紫外線は雲を通り抜けてしまうので、油断せずにしっかりと対策をしましょう。



紫外線が及ぼす身体への影響は、長い時間をかけて進行するものです。日々の対策を続けることでその後の紫外線トラブルを軽減することができるので、ぜひ実践してみてください。



【編集後記】 本格的な暑さがやってきました。皆さん、暑さ対策とっていますか? 暑がりの私は、あらゆる冷却グッズを駆使して今年の夏を乗り切ろうと考えています。今月の特集では、そんな暑さにも負けず、全共に向け取り組む大学生・高校生の皆さんを紹介しています。取材時は県代表牛最終選抜会の1カ月前。目標をもって頑張る姿は輝いていて、とてもパワーをいただきました!! この場をお借りしてエールを送らせてください! みんな頑張れ〜(笑)(安)